

三年組 番名前

かん字を 書きましよう。

しょうばい

商売

をすする。

しんかい

深海

にすむ

魚

さかな

あんぜん

安全

な

場所

ばしょ

へいわ

平和

なくらし。

ぶん

文

を

書き写す

かきうつす

しんじつ

真実

を

話す

はなす

あつい

暑い

14

去年

の

夏休み

きよねん

なつやすみ

8

昭和

の

時代

しょうわ

じだい

りよかん

旅館

にとまる。

きやくせん

客船

にのる

りょうて

両手

で

持つ

もつ

にかい

二階

だての

家

いえ

おもい

重い

かばん。

書く

□の言葉を()に合う形にして書きましよう。

(一) 何回も(書く)と、漢字がおぼえられる。

(二) 手紙を(書き)たい。(三) まだ(書か)ないでください。

三年組 番名前()

かん字を 書きましよう。

おうさま

つかえる

王様

に

仕える

かみ

りようめん

紙

の

両面

きゅうしゅう

たびする

九州

を

旅する

かるい

かけぶとん。

軽い

かけぶとん。

と

あわせる

問い

合わせる

きぶん

わるい

気分

が

悪い

ち

きごう

地図

の

記号

*次の漢字のやじるし(←)のところは、何画目になりますか。数字で答えなさい。

麦

6画

母

2画

医

7画

むし

しぬ

虫

が

死ぬ

かんじ

ぶしゆ

漢字

の

部首

てっばん

やね

鉄板

の

屋根

えふで

かう

絵筆

を

買う

がいこく

しじん

外国

の

詩人

いちびよう

ながさ

一秒

の

長さ

でんちゆう

たてる

電柱

を

立てる

14

三年組 番名前()

かん字を 書きましよう。

① 汽笛きてきを 鳴らすならす

② 船ふねが 出港しゅつこうする。

③ くぎを 打つうつ

④ くりの 実みが 実るみゆる

⑤ 算数さんすうの 宿題しゅくだい

⑥ 目めと 鼻はなの 先さき

⑦ 歯はを みがく。

⑧ 波なみが よせる。

⑨ 国語こくごの 勉強べんきょう

⑩ 服地ふくじを 買うかう

⑪ 着物きものを 売るうる

⑫ 交流こうりゅうを 深めるふかめる

⑬ 切手きってを 集めるあつめる

⑭ 出血しゅっけつが 止まるとまる

* つぎの文で「何が(だれが)・何は(だれが)」にあたることばを「」に書きましよう。

(一) ぼくは けさ はやおきを しました。 「 ぼく 」

(二) けさ 花が きれいに さきました。 「 花 」

三年組 番 名前 (

かん字を 書きましよう。

① ともだち
友だち
と
遊ぶ
あそぶ

② ようき
陽気
にはしゃぐ。

③ リュックを
背負う
せおう

④ べんきよう
勉強
を
始める
はじめる

⑤ みじかい
短い
ロープ。

⑥ 終わりの
言葉
ことば

⑦ しんぱい
心配
なくなる。

⑧ ぶどう
酒
しゆ

⑨ しあい
勝負
に
勝つ
かつ

⑩ きよう
京
の
都
みやこ

⑪ さんちようめ
三丁目
の
家
いえ

⑫ にしく
西区
に
住む
すむ

⑬ でんわ
電話
を
受ける
うける

⑭ てがみ
手紙
を
送る
おくる

* つぎの文で「どう する」「どんな ようすだ」「何だ」にあたることを「」に書きましよう。

(一) ともだちが おこうから こちらへ 来ます。「来ます」

(二) 青い 海は とても きれいです。「きれいです」